資料 4

平成 1 5 年度三番瀬自然環境総合解析

「三番瀬の現状」

報告書(概要版)抜粋

主 な 調 査 項 目 等

- 1. 地形、底質
- 2. 環境条件からみた海域区分
- 3. 底生生物、魚類、鳥類、藻類
- 4. 水質浄化能力・青潮
- 5 . 三番瀬の現況のとりまとめ
- 6. 今後の変化の定性的な予測
- 7. 今後のモニタリング調査の提案

補足調査(1996~1997年を中心に実施)

2002年度調査

比較検討し、現状 のとりまとめ

1.地形・底質

地形

深浅測量(1979、1980、1986、

1991、2000、2002年度実施)

調査方法)音響探査機を用いて測量、浅い海域は汀線測量

底質

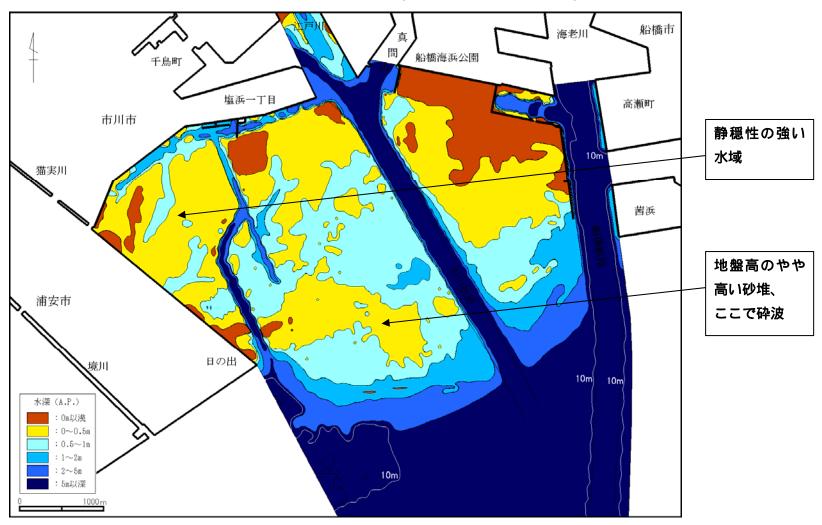
酸化還元電位、強熱減量、粒度組成ほか

(補足調査 1993~1996年度四季実施、87~93地点)

(2002年度調査 春季を除く三季実施、53地点)

採泥方法)スミス・マッキンタイヤ型採泥器による採泥

図 - 1.1 三番瀬周辺の地形(2002年度測量)



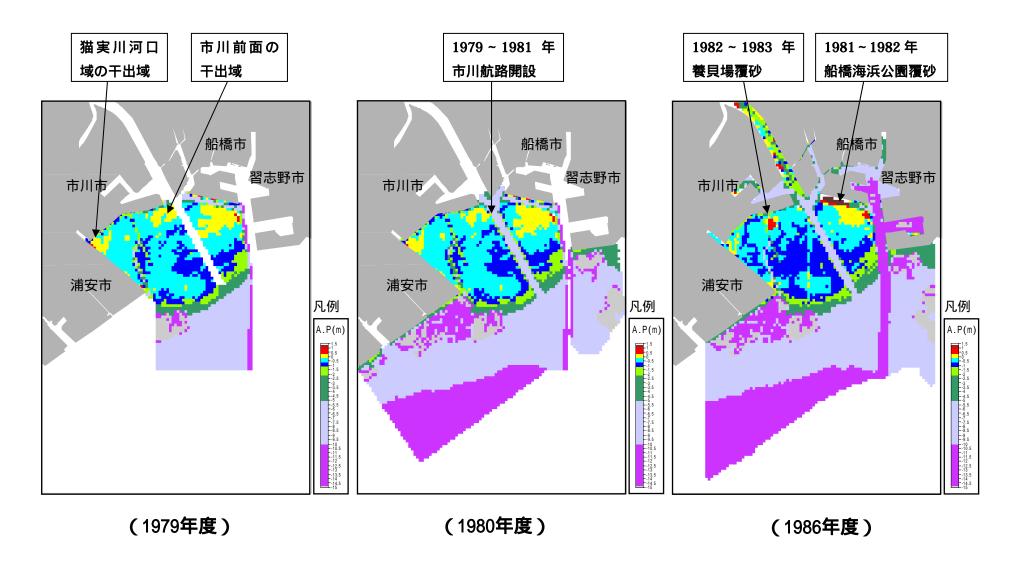


図 - 1.2 (1) 海底地形の変化 (1979~2002年度)

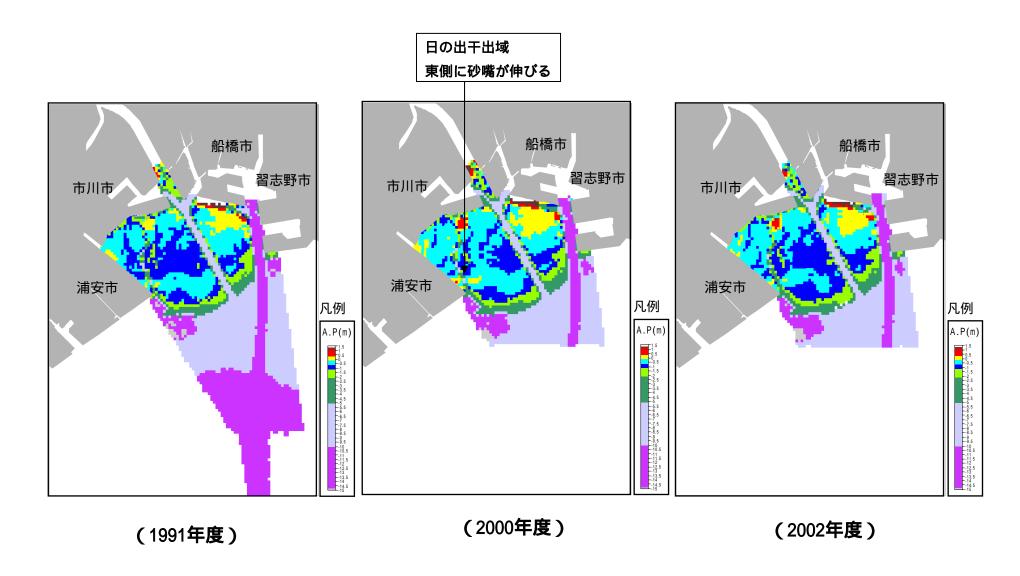
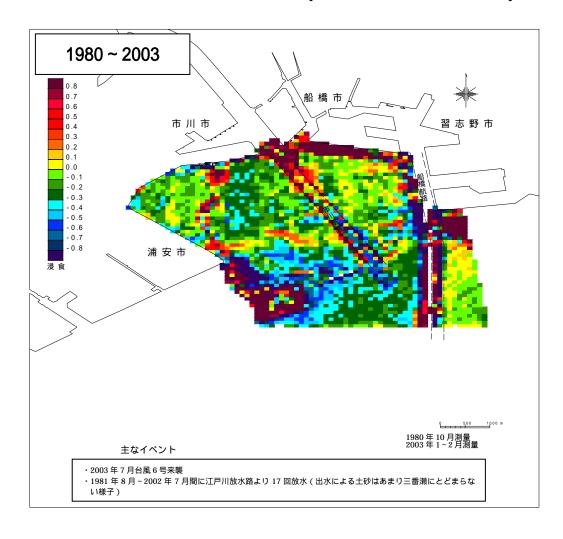


図 - 1.2 (2) 海底地形の変化 (1979~2002年度)

図 - 1.3 地盤高の変化 (1979年度~2002年度)

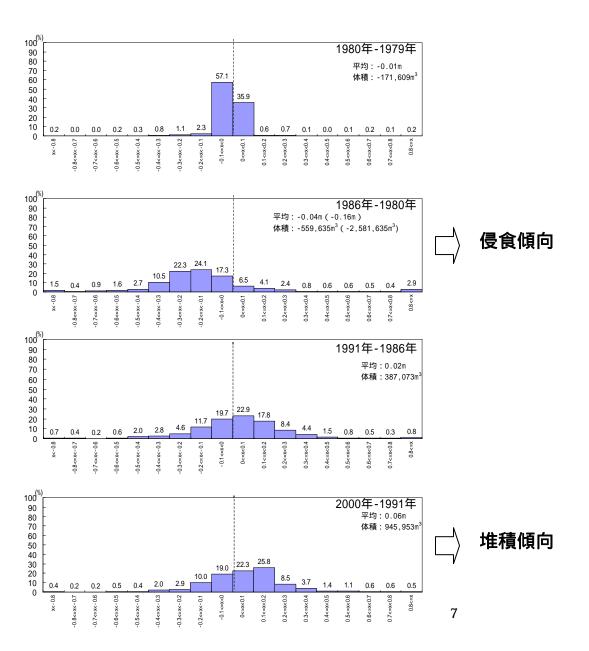


全体的に侵食傾向 この約20年間で

三番瀬の地盤高 平均5 cm ほど低下

> 船橋海浜公園の土砂 投入がなかった場合 (約200万m³投入)

三番瀬の地盤高 平均20cm近く 低下している計算



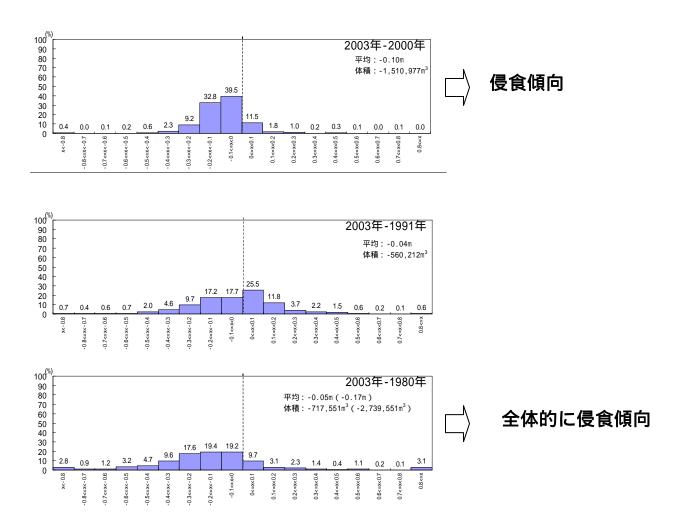


図 - 1.4 水深差出現頻度分布(浅海域全域)